

# BCM普及・評価の意義

2010. 2. 19

あらた基礎研究所 専門研究員

慶應義塾大学 教授

大林厚臣

## 企業におけるBCMの意義

1. 逸失利益を防ぐなど、直接に自社の利益を守る。
2. 供給責任を果たすなど、取引先の利益を守る。
3. 社会的利益： 自社や取引先以外の利益や地域秩序などを守る。
4. 投資家の利益を守る。

# 企業におけるBCMの意義

1. 逸失利益を防ぐなど、直接に自社の利益を守る。
2. 供給責任を果たすなど、取引先の利益を守る。
3. 社会的利益： 自社や取引先以外の利益や地域秩序などを守る。
4. 投資家の利益を守る。

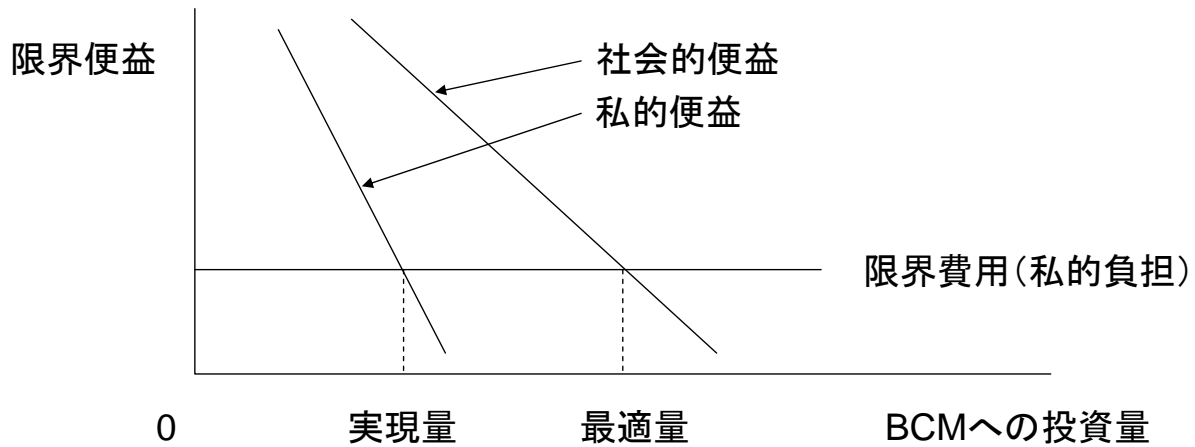
外部経済性

## BCMの外部経済性が大きい事業

1. 重要インフラストラクチャー  
(例) 電力、ガス、水道、公共交通、通信
2. 国民の安全保障に関する事業  
(例) 医療、警察、消防、防衛
3. 経済活動のプラットフォーム  
(例) 取引市場、金融市場、決済機能
4. 大規模なサプライチェーンの事業継続を左右する事業  
(例) サプライチェーンに組み込まれた事業、市場シェアの大きな事業

# 外部経済性による問題点

## BCMへの過少投資



## BCMへの過少投資 (対策)

- ・法令 (例) インフラ、安全保障、市場・決済機能
- ・市場からのインセンティブ (例) 取引先の選別、SLA
- ・情報開示 (例) 報告書
- ・基準認証 (例) 取引先の選別
- ・社会からの評価 (例) 取引先の選別

# 政策ミックス

- ・法令
  - (+) 強制力 (－) 機動的に改変できない。
- ・市場からのインセンティブ
  - (+) 情報を多くもつ者が自発的に対策をとる。
  - (－) 当事者にとって最適でも、社会的に最適とは限らない。
- ・情報開示
  - (+) 他者に参考になる。(－) 守秘やセキュリティの問題。
- ・基準認証
  - (+) 法律より機動的に運用・改変できる。第三者認証によって守秘やセキュリティの問題を解決できる可能性。
  - (－) 強制力に欠ける。
- ・社会からの評価
  - (+) 規定に制限されない柔軟性。(－) 正確な根拠を欠く可能性。

## BCMと環境問題の比較

外部経済性があり、過少投資になることが共通の問題。

対策は基本的に似たものが有効。

(参考)

地球環境問題における政策ミックスは、

- ・ 法令 + 市場インセンティブ + 情報開示
  - (例) 強制規定 + 課税・権利取引
- ・ 基準認証
  - (例) 業界自主規定
- ・ 企業の社会的貢献の評価
  - (例) グリーン購買、企業イメージ

# BCMと環境問題の比較

## 地球環境問題

- 関係者が多い → 当事者交渉は困難。
- 影響が普遍的 → ユニバーサルな規制や排出権などの市場を導入できる。

## 地域環境問題

- 関係者が少ない場合 → 当事者交渉が可能。
- 影響が個別的 → ユニバーサルな規制や排出権などの市場導入は困難。

## BCM

- 関係者が少ない場合 → 当事者交渉が可能。
- 影響が個別的 → ユニバーサルな規制や、市場による権利取引や価格形成は困難。

# BCM促進の政策ミックス(案)

- ・ 法令  
(例) 必要な業種および事項
- ・ 市場からのインセンティブ  
(例) サプライチェーンや有力企業との取引条件
- ・ 基準認証 + 情報開示 + 社会からの評価  
(例) 企業・業種ごとの基準認証、守秘部分は第三者認証  
専門家・評価者の育成  
企業の情報開示自体を評価する風土

## 対策からリスクの分類

<u>リスク</u>	<u>被害の主因</u>	<u>地理範囲</u>	<u>経験</u>	<u>有事移行</u>	<u>風評</u>
地震	物	狭	既	明白	小
火災	物	狭	既	明白	小
破壊事故	物	狭	既・未	明白	小・大
水害	物	狭	既	要判断	小
既存感染症	行動	広	既	要判断	小・大
鳥インフル	行動	広	未	要判断	大
ネット障害	行動	狭・広	既・未	要判断	小・大
コンプライアンス	行動	狭・広	既	要判断	小・大
受給中断	社外	狭・広	既	要判断	小
事業中断	各種	狭・広	既	要判断	小・大